

New Hope

~札幌ペンテコステ教会ニュース~
2014年6月

『信心』に関するものは、神社仏閣、新興宗教、新新宗教、スピリチュアル、占い、霊能者など、国内だけでも数えきれないほどに多くの種類がありますね。



ただ形式的に
拝む人、真剣に
真心から祈りを
捧げている人、何にでも手を合わせる人、「我が家は代々〇〇宗△△派」と信仰の対象がはっきりしている人など、さまざまでしょう。

そんな中で「この神さまが本物。他は全部ニセモノ」などと言うと、狂信的・排他的だと批難されてしまうかも知れません。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

『契約』の見直し

聖書は、そういう意味では実に排他的だと言えましょう。神さまの言葉として次のように書かれているのですから。

いにしえよりこのかたの事をおぼえよ。わたしは神である、わたしのほかに神はない。わたしは神である、わたしと等しい者はない。

(旧約聖書 イザヤ書 第46章9節)

自分だけが神だ、他には居ない、そう主張しているのです。そして、一般的に拝まれている様々な『像』について、次のように述べています。

彼らの崇拜するものは、林から切りだした木で、木工の手で、おのをもって造ったものだ。人々は銀や金をもって、それを飾り、くぎと鍮をもって動かないようにそれをとめる。その偶像は、きゅうり畑のかかしのように、ものを言うことができない。歩くこともできないから、人に運んでもらわなければならない。それを恐れるに及ばない。それは災をくだすことができず、また幸をくだす力もないからだ。

(旧約聖書 エレミヤ書 第10章3~5節)

「神さま」など実在せず、信仰など単なる心の持ちようの話で実態のない絵空事だと考えているならば、何を信じるかなどどうでもよい話です。食物や衣服のような感じで、各自が好きにすれば良いだけです。しかし実在するなら、話は別です。居ないものを居ると言ったり、居るものを居ないとしたりするなら、マズイ事なのです。

聖書では、信じることを結婚にたとえています。決して「どうでもよい事」ではありません。そして「本当の神」以外のものを信じることを「不貞」と表現しています。結婚は一種の契約です。契約には強制力があります。たとい「本心ではない」「形だけ」と言っても、そこに契約が成立しているなら後から文句を言うことができないのです。無闇に変な契約書(借金の連帯保証人など)に印鑑を押すと後で酷い目に遭うように、変なものを信じて(一種の契約)しまうと、後でその責任を負うことになります。

最近「保険契約の見直し」の広告をよく見かけるようになりました。あなたが今信じているもの(契約相手)は、本物ですか。あなたの現在にも未来にも、死後にも幸いを与える力があるものですか。今一度、思い巡らせてみましょう。

この人による以外に救はない。 (新約聖書 使徒行伝 第4章12節)

祈ってみましょう

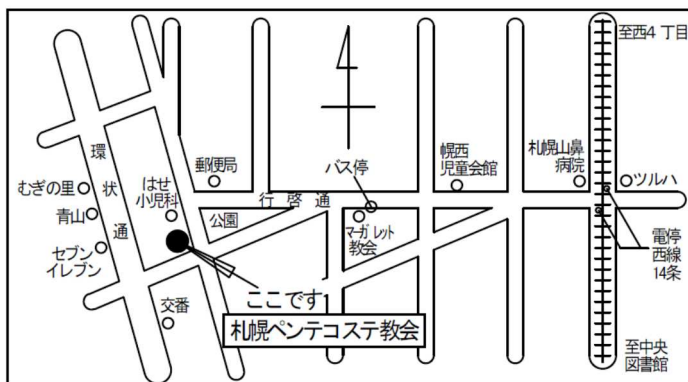
聖書に書かれている、天地を創造された神さま。あなたが本当に実在する方なのでしたら、求めていきたいと思えます。どうぞ、わかるように助けてください。あなたがこの世に送った救世主であるイエス・キリストについて理解することができるようにして下さい。



教会の定期集会のご案内

- GP クラブ** こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)
毎月1回、日曜日の午後に「GP ワークショップ」をやっています。
- 聖日礼拝** 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
- 祈り会** 神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ
<http://sapporopk.com/>
NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車